

千三百名……ええ、正確な実数は一千二百七十二名ですが、これだけの会員諸兄弟のお名前を記載させて頂いておられます。この度の総会開催に因りまして、名簿記載のすべての方にご通知いたしました。住所変更などで戻ってきたものが十二、三通です。ほとんどの方に正確な住所登録を頂いているものと考えてよろしいようです。

しかし、残念なことに、この千三百名の中から何らかのご連絡を頂けた方は、約四百八十名でございます。あの方からは全く音沙汰がございませんでした。たぶんお忙しいままに、つい失念されたものと思われませんが、この点に関しても、積極的なピー・アール活動の不足といえますが、事務局のいたらなさを痛感する次第でございます。

一昨年より私どもは総会の終了後に、総会の報告を兼ねて会員相互の連絡を図る手だての一つとして、会報を出しております。今年も会報を編集・作成する方々には、いろいろご苦勞をおかけすることになります。今日ご出席頂けなかった方々に

は、この会報を通じてせめての連携・連帯感を味わって頂ければありがたいと存じております。

以上をもちまして、事務局からのご報告・ご連絡とさせて頂きます。本日はお忙しいところ、本当にありがとうございます。

このあと恒例の懇親会がございます。格別な準備もございませんが、十分に歓談され、旧交を暖めなおして頂いて、母校を中心とした話題に花を咲かせることで、ご馳走に代えさせて頂きたいと思っております。

会計報告

八柳昭義氏 新制8期

平成元年九月一日から平成二年八月三十一日までの、能代高校東京同窓会の収支決算報告をいたします。

会計報告(P.9 別表参照)

ただ今の報告に関して何かご異議があれば承ります。……満場の拍手をもちまして、会員各位のご承認を頂いたものとして会計報告を終わらせて頂きます。

来賓祝辞

能代高校同窓会会長

神馬恒成氏

旧制9期



相変わらず盛やかな東京同窓会の総会にお招き頂き、みなさまの変わらぬ友情の深さに感激いたしております。先ほど小林事務局長さんからもご紹介頂きましたが、母校は今年開校65周年にあたりまして、五月二五日の開校記念日に本部同窓会総会を開催いたしました。東京からは後藤先輩と小林事務局長に馳せ参じて頂きましたが、いまだかつてない盛会裡に総会を終了させることができましたことをお礼かたがたご報告申し上げます。

昨年、同窓会の活性化と母校の発展に寄与する目的で、みなさま方に会費をお願いいたしましたところ、

たいへんなご賛同を頂きまして、二百五十数万円にのぼるご支援を賜りました。このことに関してまず厚く御礼申し上げます。

あと5年で母校も70周年を迎えるわけですが、この記念事業として現在、独立図書館とそれに併設する同窓会会館の建設を、鋭意検討中でございます。その節もみなさまにはいろいろご迷惑をおかけすることになると存じますが、どうぞまた一つご協力のほどをお願いいたします。今年も今月(平成二年十月)の末から月の初めに、第二回目の会費の納入をお願いする予定ですので、昨年にもまさるご芳情を頂ければ幸せと思っております。

これまで能代高校の運営に関しまして、すべてPTAに「おんぶにだっこ」の状態で、同窓会はその後にくっついて何やらお茶を濁すありさまでございます。しかし、母校もすでに一万四千名を超す卒業生を世に送り出していることです。とすれば、その同窓会が中心となつて働かなければ、母校のより大きな発展はありえない。ということ、お一人

平成三年度東京同窓会総会のお知らせ

10月5日(土) PM 3:30 開催予定 於・茗溪会館

総会是一部二部三部と区切られておりますが、時間を気にせずお気軽にご出席下さい。

年々わずが二千円でございます。これを会費としてお願いすることにした次第です。

今年度からは会報も充実させまして、みなさま方の学校の現在の姿を紹介しながら、今後のご協力をお願いしたいと思っております。どうぞ母校の益々の発展のために、よりいっそうのご支援をお願いいたします。

以上お願いばかり述べさせて頂いて誠に恐縮ですが、東京同窓会の益々の発展と、本日のご総会が有意義でありますことをお祈り申し上げます。私のご挨拶に代えさせていただきます。本日は本当におめでとございます。

秋田県立能代高等学校教頭

続 隆先生



お手元に「学校概況」という学校からの印刷物をお持ち頂いているこ

とと思います。本年度は本校の65周年という節目にあたります。そこで、それを機にもう一度本校の建学の精神を考えてみようということから、あらためてこの印刷物をプリントいたしました。

その中の教育計画にあります「一 国文教ヲ以テ興リ、一 国文教ヲ以テ亡ブ（建学の精神）」これは大正12年、当時の能代町長が能代中学建設のために、時の県知事に提出した文面の冒頭の一節であります。その後「至誠力行」を校訓としました。

この四月、校長先生が全校生徒を体育館に集めまして、この二つを柱とする講話をすることで本年度をスタートいたしました。そのほか、教育目標・本年度目標などが重要課題とともに説明がございます。後ほどお読み頂ければと思います。

(P.27 学校概況参照)

さて、在校状況ですが、このところ年々女子生徒が増えて参りました。本年度はついに百四名となりました。本日は松陰会の大幹部のみなさんともここにお見えですが、能代北高との共存共栄ということもございます。まず何よりも優秀な男子生徒を集めて、女子はできれば二桁台に抑えたという気持ちですが、何分にも能

代高校には入れず、能代工業高校や商業高校に流れる男子生徒が少なくないというのが、残念な現状です。

また、大学への進学状況もぜひとも向上させなければなりません。現状維持は一步後退であるという認識のもとに、職員一同は一生懸命に努力をしております。いずれ、その成果が目に見える日も近いものと思っております。

今日はたまたま秋田同窓会もございまして、校長先生はそちらの方へ出向いております。代理を仰せつかりまして、私が東京同窓会に出席させていただきます。

いうまでもなく学校だけでできる範囲は限られております。同窓会、特に東京同窓会のよりいっそうのご支援をお願いいたしまして、簡単ではございますが私の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございます。

能代市長 宮腰 洋逸氏 新制5期

みなさん、お晩でございます。私は新制5期ですので、お集まりのみなさんの中では比較的若いほうになるのではないかと思います。先般八月二九日に市制50周年を記念いたし



まして、能代市出身者の集いを開催いたしました。大勢の方々において頂きまして、予想外の盛會裡に終えることができましたことを、厚く御礼申し上げます。

また、市制50周年ということで、さまざまな記念行事を展開しました。その一つとして、去る十月一日には市制施行記念式典を挙行し、市内パレードを行いました。我が同窓会の神馬会長は、医師会会長として地方医療に貢献されたということで、特別功労賞を受賞されております。そのほかたくさんの方のご功績・偉業をたたえながら、これを契機にこれまで幾多の災難・苦難を乗り越えてきた能代市民のエネルギーに期待し、今五十年目を踏み出し、百年目の大輪の花開く日の糧（かて）とすることを誓いました。そうしてこそよりいっそう住みよく豊かな能代を、われわれの子孫に受け継いでもらえ